

平成29年度

第1回 大垣市緑化審議会議事録

(平成29年7月13日)

平成 29 年度第 1 回大垣市緑化審議会を、平成 29 年 7 月 13 日（木）市役所本庁舎 2 階第 1 委員会室において開催した。

次第は、次のとおりである。

議事

- (1) 会長及び副会長の選任について
- (2) 平成 28 年度大垣市みどりの行動計画実績及び評価について
- (3) 平成 29 年度大垣市みどりの行動計画（案）について
- (4) 大垣市みどりの基本計画改定（案）前編について

本日の委員は次のとおりである。

出席委員（13 名）

森 誠一	柳沢 直	小林 良子	窪田 一仁	成瀬 重雄
西脇 史雄	後藤 文夫	國枝 重一	安田 光利	高橋 正司
加藤 芳正	浦井 巧	古田 富美子		

欠席委員（1 名）

安田 忠邦

本日の市の出席者は次のとおりである。

都市計画部長	田中 裕
都市施設課長	廣瀬 勝典
都市施設課	田中 明
都市施設課	伊藤 直之
都市施設課	子林 誠
都市施設課	市川 貴久

(開始時刻 午後 1 時 30 分)

課長 定刻時間となりましたので、ただ今から、平成 29 年度 第 1 回大垣市緑化審議会を開催させていただきます。

本日の司会を務めさせていただきます、都市施設課長の廣瀬でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

はじめに、市長がご挨拶を申し上げます。

市長 本日は、平成 29 年度の第 1 回大垣市緑化審議会を開催いたしましたところ、何かとお忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

また、皆様方には、委員の職を快くお引き受けいただきまして誠にありがとうございます。平成 31 年 6 月 30 日まで約 2 年間、大変お世話になります。様々な立場から緑化政策について、ご意見、ご提言をよろしくお願いいたします。

大垣市には四季の里があり、四季折々に花が咲く花とみどりのまちです。6 月のハナショウブ、アジサイ、7 月はハナハスを見ることができます。近隣では、ハスがほとんど咲いていない状況ですが、大垣では咲いているため、足を運んでいただきたいと思います。

緑の機能については、九州豪雨ほど降っては厳しいですが、防災機能があり、樹木があることによって土砂崩れの防止にもなっています。ほかにも燃料の役割があるなど、多くの機能があります。また環境問題を解決していくものの一つが緑の保全ではないかと考えています。そのため、引き続き、緑地の保全および緑化の推進を図ることが必要となっており、みどりの基本計画を改定してまいりたいと考えております。

本日は、平成 28 年度の「みどりの行動計画」の実績並びに評価についてご報告をさせていただくとともに、平成 29 年度の「みどりの行動計画(案)」について、ご審議をいただくことになっています。委員の皆様には、その豊富な知識と経験から、忌憚のないご意見、ご指導をいただき、適切にご審議を賜りますようお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

課長 ここで、市長は公務のため、退席させていただきますので、よろしくお願いたします。

(市長退出)

課長

まず、本日の資料は、次第、席次表、資料 1、資料 2、資料 3、資料 4-1、資料 4-2、資料 5、資料 6 でございます。資料の不足がございましたら、事務局までお申し付けください。

本日は、安田忠邦（やすだ ただくに）委員の 1 名がご都合によりご欠席でございますが、委員の 2 分の 1 以上のご出席をいただいておりますので、大垣市緑化審議会規程第 4 条第 2 項の規定によりまして、会議が成立いたしておりますことをご報告申し上げます。

本来であれば、委員の皆様へ、お一人お一人に委嘱状をお渡しさせていただくのが、本意ではございますが、時間の都合により、お手元に委嘱状をお配りさせていただいております。

任期につきましては、平成 31 年 6 月 30 日までとなっております。

何かとお世話になります、よろしく願い申し上げます。

皆様のご紹介につきましては、お手元にお配りしてございます名簿をもちまして、ご紹介に代えさせていただきたいと存じます。また、座席表をお配りしておりますので、併せて、ご活用ください。

それでは、ここからは、本来であれば会長に議事の進行をお任せするところでございますが、今回は、ご就任いただいて最初の審議会ということで、現在、会長および副会長が決まっておりません。会長および副会長が決まるまでの間は、事務局の方で進めさせていただきます。まず、お手元の資料 1 の「会長および副会長の選任について」を皆様にお願ひしたいと思います。

それでは、どのように取り計ればよろしいか、お諮りしたいと思います。

国枝委員

会長には森委員さん、副会長には連合自治会副会長の後藤委員さんを推薦します。

課長

ただいま、「会長に森委員さん、副会長に後藤委員さん」というご推薦がございましたが、他にご意見ございませんか。

(意見なし)

課長

他にご意見はございませんので、会長に森委員さん、副会長に後藤

委員さんでよろしいでしょうか。

(拍手により承認)

課長 それでは、異議なしということでございますので、会長に森委員さん、副会長に後藤委員さんと決定させていただきます。

(会長席へ移動)

 早速で誠に申し訳ありませんが、会長さんからご挨拶を賜りたいと存じますので、よろしく願いいたします。

会長 本日は、平成 29 年度 第 1 回大垣市緑化審議会の開催にあたり、委員の皆様方には、大変お忙しいところご出席を賜り、誠にありがとうございます。一言ご挨拶を申し上げます。

 今日、私たちは、地球温暖化の進行、生物多様性の劣化、少子高齢化社会などの社会的課題に直面し、特に、都市部においては、防災性の向上、ヒートアイランド対策、良好な景観の形成、ゆとりと潤いのあるライフスタイルの実現など、循環型社会の実現、持続可能なまちづくりが求められております。

 私たちの生活空間に「みどり」をつくり、守り、育てる活動は、安全で快適な生活環境や都市景観を創出する上で欠くことのできないものであり、行政や事業者がそれぞれの役割に応じて行うべき重要な取組みであるとともに、私たち一人ひとりにできる最も身近な環境問題解決に向けた取組みであります。

 大垣市は、水の豊かな町として栄え、周辺には山林や河川、身近には田園空間が広がっております。大垣市全体の緑化を考える中で、地域全体の緑の質を高め、安心・安全とともに豊かな文化の創造に貢献していきたいと思っております。

 本日は、平成 28 年度大垣市みどりの行動計画実績及び評価、平成 29 年度大垣市みどりの行動計画（案）、大垣市みどりの行動計画の改定を議事として審議することになりますので会の進行にご協力お願いいたします。

 大垣市の緑化施策について、委員の皆さまと一っしょに、考えていきたいと存じますので、より一層のご協力をお願いし、挨拶とさせていただきます。

課長

ありがとうございました。

これよりの議事は大垣緑化審議会規程第4条第1項によりまして、会長が審議会の議長となります。

それでは、森会長さん議事の進行をよろしくお願いいたします。

会長

それでは、議事を進行させていただきます。

まず始めに、本日の議事録署名者でございますが、

國枝 重一（くにえだ じゅういち）委員さん

高橋 正司（たかはし まさし ）委員さんの

お二人をお願いいたします。

本日の審議会の傍聴希望ですが本日は、傍聴希望者はございません。

本日の議事に入りたいと存じます。議事は3件でございます。それでは、議事次第（2）平成28年度大垣市みどりの行動計画実績及び評価について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局

議事（2）平成29年度大垣市みどりの行動計画（案）資料2について説明

会長

ただ今、事務局から説明がございましたが、何かご意見、ご質問がございましたら、ご発言願います。

国枝委員

緑のネットワークのひとつである桜並木は、着実に進められているという実感がある。大垣市の特性は、緑と水が一体となっていることだと思う。その中で、地下水の状況や管理はどのようになっているのか。透水性舗装により地下水の涵養に寄与しているということだったが、もう少し地下水の状況がどうなっているのか分かれば教えてほしい。また、幹線水路の水質がどのようになっているのか。また、住宅の生け垣設置補助件数が2件となっており、緑への意識が弱いのではないかと思う。来年度からの指標としてあげることを検討してはどうか。地下水、水質、民間住宅の緑化について教えていただきたい。

事務局

地下水位の状況については、昔、本市には多くの繊維工場が立地し、地下水を汲み上げていたため、地下水位の低下等が問題となっていま

したが、近年は回復してきており、枯れていた井戸が自噴するようになったということも聞いています。また、都市施設課が管理している自噴井戸として、「大手いこ井の泉」や十六町の「弘法の井戸」が挙げられますが、水質は良好であり、市内外から多くの方に利用されています。

水質の調査については、環境衛生課の所管ですが、水路ごとではなく、河川ごとに水質を調査されていると思われます。例えば水門川の水質は、下水道の普及などもあり、河川類型がDからCへ向上しています。

また、水門川クリーン作戦の時に川底の状況を観察しているほか、杭瀬川等で小学校によるカワゲラウォッチングを実施して、水生生物の観察を行っており、改善していることが分かります。

生け垣の助成については、利用実績が寂しい状況です。緑の確保のみでなく、耐震対策として、ブロック塀の倒壊による被害の低減も目的としていますが、利用が広がっていないのが現状です。何らかの対策が必要と考えますが、今後の課題とさせていただきたいと思えます。

古田委員 昨年1年間での井戸の利用者数はどのくらいあるのか。行列ができているところと、閑散としているところがあると思う。

事務局 フォーラムホテルなど民間の自噴井もあることや、公共についても利用者数をカウントしていないため、不明です。ただし、加賀野の八幡神社などは、多くの方に利用されています。

安田委員 公共施設の屋上緑化2箇所、壁面緑化25箇所の実績について、箇所数は重複しているのか。屋上緑化は何処で行っているのか。

事務局 屋上緑化の2箇所は、壁面緑化の25箇所と重複しています。また、屋上緑化は、東庁舎と本庁舎で実施しています。

浦井委員 保存樹木の指定について、累計なのか。単年度なのか。平成24年度からの年度別実績を記載していただけると経年変化など読み取ることができ、評価がしやすくなる。

評価について、○、△、×の三段階となっているが、△の中には、50%の△と99%の△があると思われる。90%以上であれば概ね良好

と評価できるのではないか。

事務局 保存樹木の指定本数については、累計ではなく、当該年度に協定を結んでしている本数です。過去の実績については、平成 29 年度が五年計画の最終年度となっているため、来年度の報告において検討させていただきます。評価方法については、記号と数値を併記する形を検討します。

柳澤委員 水辺環境と地下水について健全な生態系の回復について、調査をしているようだが、どのように保全に活かされているのか教えてほしい。回復しているのかどうかモニタリングするという事なのか。保全のために調査データが活かされているのか。

事務局 モニタリングとして実施していますが、その活用については、不明です。

柳澤委員 学び広めるという項目があるが、環境学習としての意味合いが強いのであれば、こちらに挙げる方が良いのではないか。水生生物の調査だけでなく、植物の調査も行う方が良いのではないか。外来種の水草が増えていることや水質への影響がどうなのか調査し、保全に活かしていただくと良いと思う。

会長 これからについて、何を強調したいのか焦点を絞ることも重要ではないか。発信力の検討が必要である。大垣市ならではの道路の緑容率について、うまくいかないのであれば別指標に切り替えるなど独自の指標を検討していただければどうか。また、何に影響するのか根拠を示してほしい。地下水や湧水を守るためには、涵養林など土地を守らなければならない。湧水を守ることが、どのように緑の保全と関係しているのかという視点での根拠が必要である。どこの流域を守ることが、この水を守ることに繋がるのかということを考える必要がある。地下水の挙動について、国土交通省から資料収集することも一つの手かもしれない。

ペレットとマキについて、割合がどのようになっているのか。ペレットが使われているのか余ってしまっているのか教えてほしい。

事務局 単年実績の 17.1 t は、全てペレットとなっています。生産量に対し

て、活用量は 19.1 t で、2 t 不足する状態になっていおり、揖斐森林組合から購入しています。

会長 ペレットの使用は今後も増える方向なのか。

部長 生産体制もさることながら、材料（間伐材）を提供してもらえるかによると思われます。

会長 森林に関する審議会でも、どこまで作ればいいのかという議論も出ているため、兼ね合いがどうなっているのか確認したい。

地域リーダー数については、目標 30 に対して実績 10 となっており、評価が唯一×となっているが、平成 29 年度の目標 45 は大きすぎないか。

事務局 平成 29 年度の目標値として、計画図書に記載されているため、達成が厳しいと思われても、目標設定を変更することはできないと考えます。

古田委員 市で養成などは行われているのか。

事務局 市が養成できるものではありません。

浦井委員 対象が、説明されたものだけでなくても良いと思う。他にも関連する資格がある。

事務局 それも当初設定に変えることになると思います。

会長 それでは、まだご意見があるかもしれませんが、時間の都合もあり、また、関連する議題でもあることから、議事 3 について説明をお願いします。

事務局 議事（3）平成 29 年度大垣市みどりの行動計画（案）資料 3 について説明

会長 平成 28 年度に△、×だったものを重点的に平成 29 年度は行動していくものではないのか。このままでは評価が変わらないと思われる。

事務局 ×の件など、市が手を差し伸べることが難しいものが多く、抜本的な対策がない状況です。

会長 そう言ったことを明示しないと次の改定に活かされない。どこを重点的に行動するのか。やりにくい部分をどうしていくのか。戦略的に考えていかないといけないと思われる。

浦井委員 平成 29 年度で現在の計画が終わって、平成 30 年度からは新しい計画で行動していくということでしょうか。

事務局 はい、その通りです。

部長 平成 29 年度までの計画は、市の施策でできないものも扱っており、目標達成が厳しいものもある。平成 30 年度からの計画については、市の施策で反映できるような目標設定を考えたい。市の施策を盛り込むような形で、中長期の視点で進行管理をしていきたいと考えている。

国枝委員 カワゲラウォッチングを教育の指標に入れてはどうか。子供達の体験学習を活かせないか。

柳澤委員 小学校でやっているようなことを教育に載せることを検討してもいいのではないか。河川環境の整備に繋がる調査があれば残しておくなどして、活かしていくことができるのではないか。

森会長 墨俣のサクラについて、新規で植えることはできないのか。

事務局 全くできないわけではありません。河川管理者としては堤防が弱体化する恐れがあるので、植えてほしくないという意見がありますが、国や県との協議において、なるべく堤防に影響がないように植栽すれば認めるとのことです。ただし、サクラを植栽したことにより、除草等の維持管理を市の負担で行ってほしいとされています。

市としましては、半永久的に除草を行っていくのは負担が大きいため、難しいこととなります。

浦井委員 誰が植えたのですか。

事務局 墨俣の料芸組合と聞いております。

会長 新しいものも植えられていませんか。

事務局 無許可で地元の方が植えられたものと思われます。

森会長 大島堤については、市が植えているのですか。

事務局 大島堤は輪中堤となっており、河川堤防ではないため、市の判断で植栽することが可能です。

柳澤委員 水と緑を学び広めることについて、環境学習として、緑が豊かな上石津の里山を利用した学習を行っていくべきだと考えている。昨年まで里山大学があったが、無くなるという話を聞きました。里山学習林として、ペレット製造施設の裏山を整備されていたが、あの場所を活用する講座が継続されることを提案いたします。

会長 今、議論いただいていることは、本日の本題である平成 30 年度以降の計画に繋がっていくお話だと思われますので、平成 29 年度行動計画（案）については、ここで一旦締めさせていただきます。

平成 29 年度行動計画（案）については、原案のとおり進めることでよろしいか。

（異議なし）

会長 それでは、議事 4 について、事務局より説明をお願いします。

課長 議事（4）大垣市みどりの基本計画改定（案）前編資料 4 について説明

会長 ただ今、事務局から説明がありましたが、何かご意見、ご質問がありましたら、ご発言願います。

柳澤委員 量から質への転換の根拠が不自然ではないか。アンケート結果では

大きな差があるようには見えないため、別の根拠を示したほうが良いのではないか。量が確保されてから次に質というのは自然な流れであり、考え方としては良いと思う。

また、課題については、到らないことを記載するのが普通であり、これはどちらかと言うと目標になっているため、課題らしく訂正したほうが良いと思われる。具体的には、水や緑の空間や景観が充実していないので努力するというような書き方が望ましいのではないかと考える。

最後に些細なことですが、4つの基本方針の、守る、創る、活かす、育むについて、守ると育むの違いが分かりづらいと思う。よく読むと緑を育むではなく、緑を守る心を育むではないかと考える。きちんと表現した方が伝わりやすい。

課長 アンケート結果について、1000件の配布に対して392件の回収となっています。量については、半分以上の方が満足しているが、質は半分以下となっています。わずかな差ではありますが、質についても半分以上が満足するようにしていきたいという思いがあります。

事務局 自由意見において、落葉や雑草などについて不満をもってみえるご意見が多くありました。それらを踏まえると、緑の存在そのものが否定されてしまうことになりかねず、質の向上を図っていかなければ、市民の理解が得られないという思いがあります。

柳澤委員 そのような説明であれば素直に理解できる。

数字だけをみると、アンケート結果では、量の方が質に比べて、不満が多いと受け取れるので、数字だけに拘らずに説明すると良いと思う。

浦井委員 アンケート結果だけで根拠にするのではなく、現実のデータをみると、緑が減っていることが分かるが、ここから更に増やしていくことは現実的でないと思われる。

古田委員 みどりの基本計画について、水についての記載が見当たらないが、水の扱いはどのようなになっているのか。

浦井委員 以前の計画では、「水と緑」という表記が多く見られたが、今回は

「みどり」だけになってしまっているのは何故なのか。

事務局 水を無くすわけではなく、緑の中に水も含むという考えです。

会長 基本計画を改定するにあたっては、目標の達成状況や評価だけでなく、思想も含めて説明いただき、議論していくことが必要になると思われま。

課題の文言については、ご指摘いただいたということで検討していただきたい。

守ると育むことについても、思想などと絡むと思われまますが、表現を変えることなどを含めて検討していただければと思いま。

窪田委員 私は、水と緑の表現に違和感を持っている。水は、環境の方で地下水など扱っていることもあり、並べる必要がないと思う。水と緑は切り離せないものであると考えるが、施策については、水が入ると難しくなると思われ。

あと、図面の矢印の向きが川の流れと逆になっていることの意味は何か。

また、計画の中から緑化率が無くなっているのは何故か。緑化が目的であるため、無くしてしまうのはおかしいと感じる。

事務局 矢印は、ネットワークが広がっていくイメージを出したのですが、表記については帯にするなど変更しま。

会長 水については、別に取り組んでいることもあり、ここでは重点的に取り扱う必要はないとのご意見でしたが、次回、冒頭のところで、基本理念など、この基本計画がどのように作られているのか、時代に合わせて思想も少し変化していることを説明いただければと思。

緑化率については、現実的に緑を増やしていくことは難しいかもしれないが、別の方策によって、達成を目指すことはあり得るのではないかと思。計画の目標で関連しそうなものとしては、一人あたりの都市公園面積がありますが、それ以外については全てお金のかからないソフト面になっている。緑化率などお金のかかるハード面については考えなくてよいか。

部長 次回、提案させていただきたい。

浦井委員 緑地率について、上げることは難しいと思われる。どこまで維持できるのか一つの基準があると良い。緑に関するハード面での指標がほしい。大もとがどうなっているのかの指標がないため、緑地の確保や緑化ができていないのか判断するものがあると良い。イベントの参加者が増えたから緑化が進んでいると考えるのか。根幹となるような指標を入れてほしい。

国枝委員 市の緑づくりを反映させる施策として、緑の育成について適切な維持管理をすることが挙げられる。樹木が電線にあたってしまう状況や、ソフトピアのメタセコイヤの状況をみると、街路樹が自由な大きさになれるように、基本となる道路は電線の地中化を進められないかと考える。緑の面からも提言していくと良いと思う。

大垣市は緑に恵まれていると思うが、市民に発信して、学んでもらい、より緑を大切だと思ってもらうために、輪中堤を探勝するモデルコースとしてサイクリングロードとするなど活用していくと良いと思う。都市施設課だけでは難しいことも、各課協力して横断的な行政の取り組みができると良いと思う。自然環境保全地域が上石津にあるということは知らなかった。そこに向かう探勝の道があるとい良いと思う。上石津から養老公園に横断できる良いルートを整備することで、市民の皆様を含め、外部からも人が来るようになれば、養老鉄道やバスの活性化に繋がるのではないかと。

会長 すぐには無理かもしれないが、電柱の地中化の件など議事録に残していただき、どこが担当部局になるのかわからないが、市民からの貴重な意見として考えていくと良いかと思う。輪中堤の緑地に関することは、うまく行っていけば、県や国とともに何か良いものができると思う。

今後、発信する拠点、ルートづくりについても検討が必要であると感じた。

浦井委員 緑化を推進していくというのは、都市施設課だけで行えるものではなく、全体で取り組まなければならないものである。電柱の地中化の話にしても、他課を巻き込んで市として取り組まなければならない。どこの部署が行うかは別として、そう言ったものを計画に盛り込めると良いと思うので、できる限りお願いしたい。そのためには、庁内連

絡会議などを作って、進めていく必要がある。

(質疑終了)

事務局　みどりの基本計画の改定（前編）について、ご意見やお気付きの点等がありましたら、皆様に配布させていただきました意見書に記入していただき、7月末までに提出をお願いいたします。これから施策等を考えていくこととなりますが、施策についてもご意見がありましたら、よろしくお願ひします。提出していただいた意見につきましては、参考にさせていただきたいと思ひます。紙媒体だけでなく、メール等でも良いので、お願ひいたします。

浦井委員　今日、この場で出た意見を反映して直される可能性はあるのですか。

事務局　修正について検討させていただきます。

次回は11月上旬頃に第2回緑化審議会を開催したいと考えています。それまでに、素案を取りまとめる必要がありますので、よろしくお願ひいたします。

会長　資料については、出来次第、早めにいただきたい。

浦井委員　今日の議論で、ある程度意見が出ましたので、その内容を入れて、作ってもらい、それに対して意見を言った方が良いのではないか。

事務局　方針としてハードからソフト、拡張整備から維持保全へという流れは根底にあり、今日の意見をすべて取り入れることは難しいと思ひています。

水に関すること以外でも、農地や森林についても、他部局において計画を作っているものがあり、二元管理の状態になるのはいかがなものかと考えています。

会長　今日の意見を含め重複しても良いので、現在の資料に対して、皆様から意見をいただくということで良いのではないか。市としては、今日の議論の内容も踏まえられと思うが、無理に新しいものを作らなくても、あえて改定しなくても良いと思う。

まだ、ご意見があるかもしれませんが、意見書を提出していただければと思います。

それでは、事務局に戻させていただきます。

課長 ありがとうございます。最後に、部長より一言ご挨拶申し上げます。

部長 皆様方におかれましては、長時間にわたり、貴重なご意見を頂戴いたしました。

盛りだくさんのご意見をいただきましたので、できることは計画に反映していきたいと思います。今回は、5年ぶりの大きな改定となりますので、今年一年間、皆様のご意見を頂きながら、計画づくりを行っていききたいと思います。

最後に、緑を作るという点のPRですが、駅前に再開発広場を作っています。コンセプトは水と緑で、井戸を掘って、自噴水で水辺空間を作り、芝生や中低木を植え、緑のある広場を考えています。

また、庁舎の東側にある丸の内公園については、新庁舎建設に伴い西側の水門川沿いに移転します。新庁舎が完成するのは、かなり先の話になりますが、水と緑をコンセプトとした公園であり、市民の方々が散策できるような遊歩道をつくるなど検討しています。

今後も、夢を描きながら、緑や水をベースに、公園や広場などハード部分の整備にも取り組んでいきますので、皆様にご理解いただきたいと思います。

今後とも、ご指導を賜りますことを、お願い申し上げ、閉会の挨拶とさせていただきます。

長時間にわたり、ありがとうございました。

(終了時刻 午後 3 時 50 分)